

夕日に映える一の宮公園のドリームタワー。ロマンチックな雰囲気写真撮るカップルも多い



婚活・金運の聖地に

豊浜町の海岸線を車で走ると、南国情緒たっぷりのヤシの木と広い芝生広場が目飛び込んでくる。美しい夕日が眺められる一の宮公園では、ちょっとしたリゾート気分を味わえる。

■カップル成立39組

公園は2007年に「恋人の聖地」に認定。広場中央にあるロケットをイメージした「一の宮ドリームタワー」の鐘を、夕日を待って鳴らすと、幸せになるとか。結婚式する二人の前写し場所としても人気だ。

聖地への申請から関わっている大豊商工会青年部の合田哲也さん(45)は「このロケーションを生かさない手はない」。毎年夏には青年部が「一の宮サマーフェス」を開催。手作り水鉄砲を使った「ウォーターバト」や砂浜を自転車で走る「浜チャリレース」などのオリジナル企画で、家族連れらに楽しい思い出をつくらせてもらっている。

10年からは毎年、「はるこい」と銘打った婚活プロジェクトも実施。地元で頑張ろうという独身男女に出会いの場を提供し、過去39組のカップルが成立。報告があった分だけでも3組がゴールインした。青年部の福田賢二郎長(38)は「地元への恩返し。これからも若

い力で挑戦していきたい」と目を輝かせる。

■小金持ちになっ

道の駅とよはまは、ドライバーにとって香川の「西の玄関」として親しまれて



静かなブームを呼んでいる道の駅とよはまの「黄金持ちの聖地」モニメント

わがまち未来会議



観音寺

四国新聞移動編集局
2018



いるが、15年に敷地内にお目見えした「黄金持ちの聖地」モニメントが今、静かなブームになっている。

モニメントは海に向かつて約12m先のほぼ正面に銭形砂絵・寛永通宝を望めるように設置。道の駅のスタッフによると、「向こうは大金持ち。あっちまで行けない人はまず、ここから願いを込めて、小金持ちになっ」という思いが込められているのだとか。

願い札を結ぶ棚も備えてあり、中には「7千万円当たりました」と書かれた札も…。夕方になると、モニメントの「寛永通宝」も神々しく輝いて見える。